

わたしの避難計画(地震編)

まずは、自宅の耐震状況と自宅周りの地形等を確認しましょう！

自宅の耐震状況

あなたの家は耐震住宅もしくは耐震改修済住宅ですか？

はい いいえ わからない

1981年(昭和56年)6月1日以降、すべての新築住宅に新耐震基準の適用が義務付けられています。

新耐震基準

- 震度5程度の中規模地震でほとんど損傷しない
- 震度6強~7の地震で倒壊しない

※市では、木造住宅の耐震診断・耐震改修工事費用の一部を助成します。詳しくは都市整備課まで

地震による他の災害リスク

自宅付近にがけ地・急斜面がありますか？(土砂災害の恐れ)

はい いいえ

自宅上方に農業用ため池がありますか？(堤が決壊する恐れ)

はい いいえ ※危険地区には「ため池ハザードマップ」を配布済みです

日ごろの準備

安全なスペースの確保

- 家具の固定・配置換え
- ガラスの飛散防止(フィルム等)
- 停電に備えて灯の準備(懐中電灯・ロウソク等)

住宅の耐震診断・耐震補強

- 非常持出品の点検(P70)
- 消火器の設置

地震発生

揺れて

身の安全を確保することを第一に！

- テーブルの下に隠れる
- ふとんや座布団で頭を守る
- 低い姿勢でじっとする

揺れがおさまったら

- 火元の確認(元栓閉める)
- ドアや窓を開けて出口を確保
- ケガの防止(スリッパ・くつ)
- 家族・隣近所の安否確認
- 正しい情報の収集
- 余震に備える

避難の判断 以下にあてはまる場合は、**すぐに避難** しましょう！

- 自宅にいたことが危ないと感じたら
- 自宅付近に「がけ地・急斜面」がある
- 自宅上方に「農業用ため池」がある

耐震状況で いいえ わからないの自宅は必ず避難

避難するときは

- 非常持出品の準備(P70)
- ブレーカーを落とす
- 安全な服装、歩きやすい靴
- 行き先を書いたメモを出入口に貼る
- 避難方法(徒歩・自家用車) ※なるべく徒歩で避難

避難先

基幹避難所

地域集合場所

指定避難所

集落センターなど ※施設の耐震性に注意して利用してください

原子力災害とは

原子力災害とは、原子力発電所の事故などに起因する放射性物質または放射線の異常な放出により住民の生命・身体または財産に生じる被害を意味します。
放射性物質・放射線は目に見えず、臭いも感じられないため、被害の程度や状況を自ら判断できません。

外部被ばく

地面・衣服・皮膚などに付着した放射性物質により、体の外から放射線を受けることです。

内部被ばく

飲食や呼吸により体内に入った放射性物質から放射線を受けることです。

人体が放射線を受けると、細胞の中のDNAを傷つけられますが、放射線量が少ない場合は、体に備った修復作用により傷ついたDNAは修復されます。しかし、多量の放射線を受けると、傷ついたDNAを修復できず、人体への影響が現れます。人体への影響は、脱毛・白内障・皮膚障害やがん・白血病・遺伝性影響等があります。

柏崎刈羽原子力発電所と五泉市

五泉市は「柏崎刈羽原子力発電所」から50km以上離れて位置することから、PAZ・UPZ圏外です。

PAZ: 予防的防護措置を準備する区域 Precautionary Action Zone	●発電所を中心とする半径概ね5kmまでの範囲 ●主として、放射性物質放出の前に避難が実施できるよう準備する区域	柏崎市 刈羽村
UPZ: 緊急防護措置を準備する区域 Urgent Protective action Planning Zone	●発電所を中心とする半径概ね5~30kmの範囲 ●事故の不確実性や急速な進展の可能性などを踏まえ、防災対策を実施する区域	柏崎市 長岡市 燕市 見附市 小千谷市 十日町市 上越市 出雲崎町

